議会報告

山形県議会　建設常任委員会における主な質疑(7月5日)

やまがた健康住宅の普及と省エネ住宅リフォーム制度の新設について

やまがた健康住宅の普及に向けて、情報発信力の強化が重要であり、事業予算を確保した上でさらなる拡大を求めます。

▼

県当局　ユーチューブの配信など情報発信に努めているが、現状は予算措置を行わず職員で運用している。
指摘を踏まえ、魅力をしっかりと伝えるために、効果的な情報発信に向けて事業を強化していきたい。

▼

県住宅リフォーム補助金の現状を伺います。

▼

県当局　年間３億円の予算をほとんど執行する県民ニーズの高い状況です。利用者アンケートの結果、高齢者の利用が多く、省エネに関する事業を求める声がある一方で、現在の補助額では断熱改修事業に足りない金額になっています。

▼

省エネに特化した住宅向けの新たなリフォーム制度の新設を求めます。

▼

県当局　住宅の断熱性能に応じた補助の仕組みが必要であり、**議員提案の通り、省エネリフォームに対する支援を検討**します。

▼

斎藤俊一郎の提言
- ヒートショック対策や家計・環境に配慮した「やまがた健康住宅」のリフォーム版制度創設
- 若者をはじめ新築住宅を求める世代に合わせ、専門事業者を活用した情報発信事業の拡充

山形新聞7/6朝刊　2面　建設常任委員会　齋藤質疑　記事掲載

建設常任委員会の役割は

・山形県の道路や河川、空港と港湾などの社会インフラから住宅、土地開発、都市公園事業などを所管する委員会です。
・毎年のように起こる自然災害への対策や復旧、山形空港の整備など多岐にわたり、県民・市民の生活に直結する分野を担わせていただきます。

さいとう俊一郎　Profile

昭和57年11月26日　小田島地区大堀に生まれる(現在40歳)
小田島小学校・東根二中・日大山形高校卒
日本大学芸術学部映画学科入学
衆議院議員秘書として公設第一秘書など15年務める
東根市議会議員を経て、令和5年4月9日 山形県議会議員選挙にて8,805票をいただき、初当選
暮らしやすい山形県づくりのために日々奮闘中

様々な団体の活動を通じて、地域貢献を目指しています
・一社)東根青年会議所　外部監事
・東根市消防団第5分団第5部 部員
・公社)山形県ボウリング連盟　副会長
・公社)日本中国料理協会山形県支部　顧問
・東根市剣道連盟　相談役

県政へのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください!

山形県議会議員 齋藤俊一郎事務所
http://saitou-s.jp/
〒999-3773　山形県東根市島大堀255
TEL・FAX(0237)42−2154
E-mail：saitou21passion@gmail.com

山形県議会議員

さいとう俊一郎 県議会レポート

山形県議会
新しい県政の展望 ～あったかい県政との架け橋～

県議会へ初登庁を果たし、４年の任期が始まりました。

早速、東根市内において山形県に関する道路や河川等の整備状況や課題について現場視察を行い、一刻も早い問題の解決を図って参ります。

6月21日から7月11日の会期で行われた6月定例会では、吉村知事から提出のあった、<物価やエネルギーの高騰対策とポストコロナの新しい県づくりを進める>『総額46億5,400万円』の補正予算などを審議しました。

これら施策に加え、選挙戦で掲げた「北村山公立病院へ山形県が経営参画する健康先進都市の構築」など公約の実現を目指し、未来に誇れる山形県をつくるため、これまでの政治経験を活かし、40歳の新たな発想力で新しい県政を展望し、県政与党の立場から「あったかい県政との架け橋」になって参る決意です。

山形県議会議員　齋藤 俊一郎

山形県議会へ初登庁

当選証書

県議会　令和5年6月定例会　主な内容

物価やエネルギーの高騰対策とポストコロナの新しい県づくりを進める

『総額46億5,400万円』の補正予算　成立

あったかい県政との架け橋へ

さいとう俊一郎議員の県議会での役割

〈会派〉
・県政与党　県政クラブ

〈委員会等〉
・建設常任委員会　委員
・産業人材確保・生産性向上対策特別委員会　委員
・デジタル化推進会議　委員
・山形県都市計画審議会　委員

〈議員連盟〉
・スポーツ振興議員連盟　事務局次長

低所得者・子育て

○子ども食堂等の物価高騰等への支援
（従来の1回あたり1万円の補助に、1回あたり2千円を上乗せします）
○フードバンク活動への支援
○県立学校において給食支援

生活者

○市町村が取り組むＬＰガス料金の負担軽減及び地域経済活性化に資するプレミアム商品券等発行事業に対する支援
（東根市では秋頃にプレミアム商品券事業が実施される予定です）

医療・福祉

○医療機関、介護施設、障がい福祉サービス施設等に対する物価高騰対策支援
（光熱費や食材費等のかかり増し経費に対し支援をします）

農業

○施設園芸農業者の省エネ設備等の導入経費に対する支援
（燃油使用量の削減による収益性の向上に向けた、省エネ設備等の導入への助成をします）
○畜産農家の飼料価格高騰への支援
○農業水利施設の電気料金高騰への支援
○きのこ生産施設の光熱費高騰への支援

中小企業

○特別高圧で受電している県内中小企業等の電気料金高騰への支援
（政府が実施している対策事業の対象となっていない特別高圧で受電している県内中小企業等に対し支援をします）

公共交通・観光

○地域の移動手段確保のための乗合バスやタクシーへの支援
○貸切バス・タクシーを利用した新たな旅行商品等に対する支援

県議会　建設常任委員会に所属しています！

6月6日～8日まで建設常任委員会による県内調査が行われ、村山地域と置賜地域を中心に昨年の大雨による災害現場の復旧状況や高速道路スマートインターチェンジの整備状況、省エネ住宅の普及状況などを現地調査しました。
これらの調査をもとに、議会における政策提案に活かしていきます！

▲須川　流域能力向上事業調査

▲省エネ住宅
エコハウス事業調査

▲国道 287 号
重点新規事業調査

▲ふるさと総合公園
都市公園事業調査

▲一級河川小白川
災害復旧事業調査

◀第20回さくらんぼマラソン大会▲

▲仙台さくらんぼ東根会 総会

▲現場主義　第1弾「田植え」

▲現場主義　第2弾「さくらんぼ収穫」